

実践事例②

志教育の視点

かかわる

もとめる

はたす

<p>活動名 小泉 再発見 「町探検」 1～2年 「地域の施設を見学しよう」 3～6年 「小泉の歴史を調べよう」 6年</p>	<p>第1～第2学年 生活科 第3～第6学年 社会科 第6学年 総合的な学習の時間 実施月 6月</p>
<p>活動のねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の歴史や産業について学び、課題解決や情報の収集、分析やまとめ、表現を通して、よりよく問題を解決する力を高める。 地域の歴史や産業について学び、他の地域と比較してその違いやよさを再認識させるとともに、地域と自分のかかわりについて振り返らせ、これからの自分にできることを考えさせる。 <p>志教育との関連</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習を通して地域のよさを再認識し、自分の将来の生活や仕事と地域とを結び付けて考える。 	

活動実践の概要

- 1 小泉の歴史を調べよう（6年）
 - 地域についての今までの学習を振り返るとともに、新たに調べたいことや見つけ直したいことをまとめる。
 - 地域の方をゲストティーチャーに招き、遺跡や過去の偉人、地名の由来などについて知る。
 - 他地域と比較して、その違いや良さを考え、自分と地域のこれからについて考える。
- 2 サンフレッシュ小泉農園見学（全学年）
 - 震災後にできた地域の新しい産業施設について情報を集める。
 - 全校児童で見学し、トマトの収穫体験をする。
 - 施設の職員の話聞き、一般的な農園と異なる点を知る。
 - 疑問や詳しく知りたい点について、質問する。
 - 地域の産業と自分とのかかわりなどについて考え、御礼の手紙を書く。



成果

- 自分の住んでいる地域の歴史や伝統の重みを感じ、それを誇りに思うことができた。
- 震災後の地域にできた「土を使わない、温度や湿度の調整を機械で行う」などの農業の先端技術を見学し、収穫体験を行うことにより、自分の将来の職業について考えるきっかけとなった。

課題

- 児童の複数の家族が、農園施設で働いている。地域人材の、より効果的な活用方法を探りたい。
- 農園見学は今回が初めてだったこともあり、全学年児童一斉の見学となった。今後は、学年を絞っての効率よい見学の実施について検討したい。